

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 27 年 2 月 19 日 (2015.2.19)

【公開番号】特開 2013-116608 (P2013-116608A)
 【公開日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-030
 【出願番号】特願 2011-265968 (P2011-265968)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/16 (2006.01)

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 12 月 25 日 (2014.12.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

インクジェット記録ヘッドの製造方法において、

インクを供給するための凹部または貫通溝からなる流路を表面に備える第 1 の基板と、
インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生するエネルギー発生素子を備える第 2 の
基板と、を用意する工程と、

前記第 1 の基板の前記表面上に、ローラ状の転写体によって転写液を所定の方向に沿っ
て転写する工程と、

前記第 1 の基板と前記第 2 の基板とを前記転写液を介して貼り合わせる工程と、を備え

る。
前記転写液を転写する工程において、前記所定の方向と直交する方向に関して、前記転
写体と前記第 1 の基板とが前記転写液を介して接する長さは等しいことを特徴とするイン
クジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項 2】

前記転写体と前記第 1 の基板とが前記転写液を介して接する領域は、前記所定の方向に
平行な中心線に対して対称である、請求項 1 に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方
法。

【請求項 3】

前記第 1 の基板は、表面積を減らすための表面積調整用凹部を有する、請求項 2 に記載
のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項 4】

前記表面積調整用凹部の深さは、前記転写体の周面に塗布されている前記転写液の厚み
よりも大きい、請求項 3 に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項 5】

前記第 1 の基板の前記表面の前記所定の方向に平行な中心線の両側における表面積は互
いに等しい、請求項 3 または 4 に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項 6】

インクジェット記録ヘッドの製造方法において、

インクを供給するための凹部または貫通溝からなる流路と、インクを供給するためには使用されない凹部または貫通溝からなる調整部と、を表面に備える第１の基板と、インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生するエネルギー発生素子を備える第２の基板と、を用意する工程と、

前記第１の基板の前記表面上に、ローラ状の転写体によって転写液を所定の方向に沿って転写する工程と、

前記第１の基板と前記第２の基板とを前記転写液を介して貼り合わせる工程と、を備える、

前記第１の基板の前記表面において、前記所定の方向と直交する方向に関して、前記流路と前記調整部とが並べて配されていることを特徴とするインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項７】

前記第１の基板の前記表面において、前記所定の方向に関して、前記流路と前記調整部とが並べて配されている、請求項６に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項８】

前記第１の基板の前記表面において、前記所定の方向に関して、前記流路と前記調整部とが交互に配されている、請求項６または７に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項９】

前記調整部の深さは前記流路の深さよりも浅い、請求項６ないし８のいずれか１項に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法。

【請求項１０】

請求項１ないし９のいずれか１項に記載のインクジェット記録ヘッドの製造方法を用いて製造されたインクジェット記録ヘッド。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

上述した課題を解決するために、本発明に係るインクジェット記録ヘッドの製造方法は、インクを供給するための凹部または貫通溝からなる流路を表面に備える第１の基板と、インクを吐出するために利用されるエネルギーを発生するエネルギー発生素子を備える第２の基板と、を用意する工程と、第１の基板の表面上に、ローラ状の転写体によって転写液を所定の方向に沿って転写する工程と、第１の基板と第２の基板とを転写液を介して貼り合わせる工程と、を備え、転写液を転写する工程において、所定の方向と直交する方向に関して、転写体と第１の基板とが転写液を介して接する長さは等しいことを特徴とする。